

# 四条中学校ブロックの小中一貫教育

## 小中一貫教育構想図

### 四条中学校ブロック小中一貫教育目標

夢を持ち、共に学び、たくましく社会を生き抜く子の育成  
～聴く力をつけ、互いに認め合い、自分で考え、本当の力を持つ～

#### 目指す子ども像

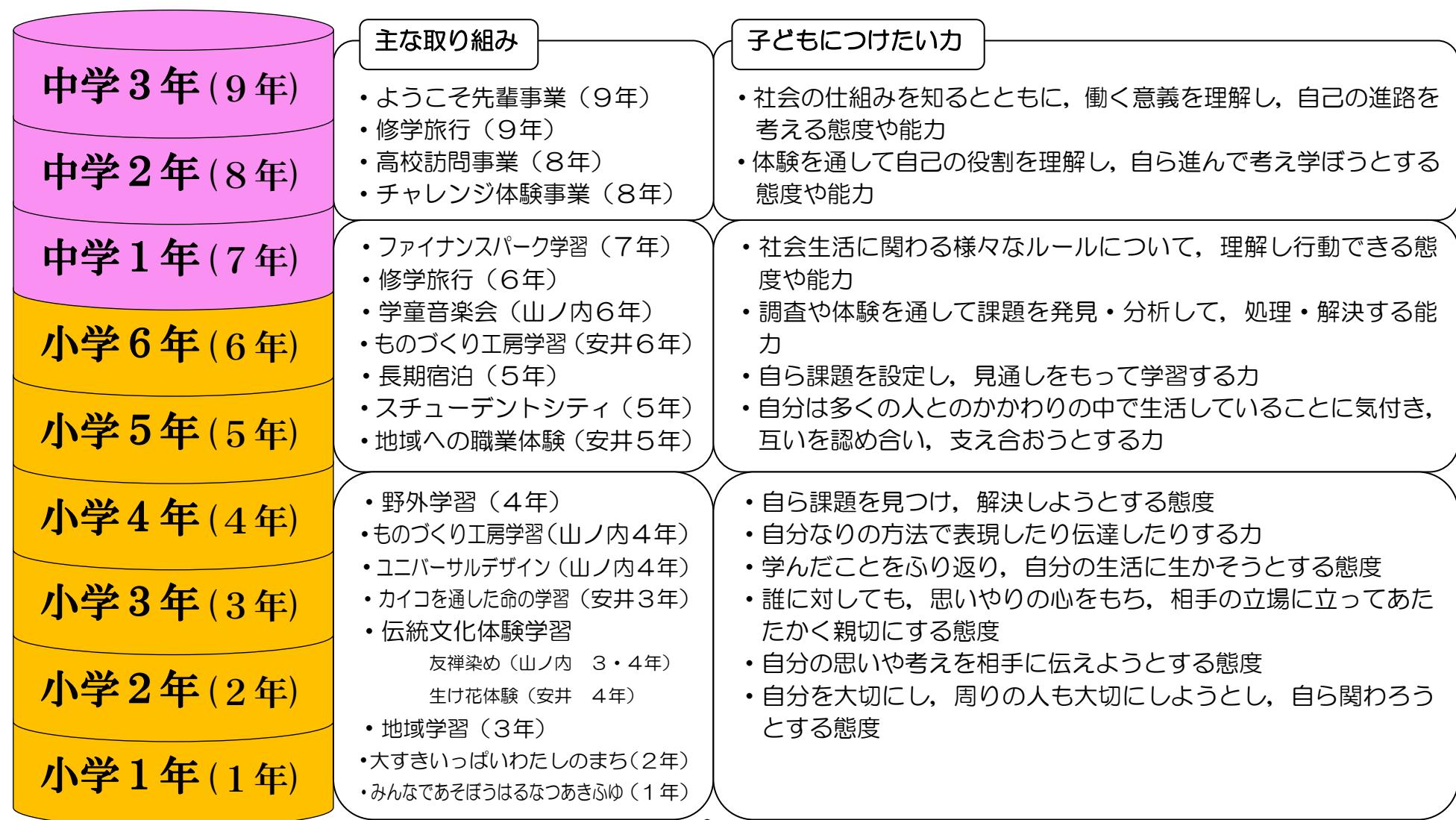
- 人とともに社会を生きる力をもつ子
- 自分を知り、律する力をもつ子
- 課題を見つけ、解決する力をもつ子
- 夢や希望をつくりあげる力をもつ子

#### 目指す教職員像

- 優しさと厳しさを兼ね備え互いに向かうことができる教職員
- 子どもに対する愛情や思いやりをもった教職員
- 教育の専門家としての実践的指導力を身に付けた教職員

### 9年間の学びと育ちの構想

進路指導＝生き方指導と捉え、総合的な学習の時間・道徳・特別活動での指導を系統的に関連させ、社会性を身に付け、自己の進路を切り拓くことを考えさせる。



### 子どもの実態

- 素直で協調性があり、学校生活の中でルールやマナーを守ろうとする子が多い。地域や公共の場での行事にも進んで参加する傾向もある。
- 一方で、積極性が欠けていたり、主体的に取り組もうとする姿が乏しく、自分の思いや考えを表現することが苦手な子が多い。
- 家庭学習の習慣、基礎的・基本的な学力はある程度定着しているが、さらなる向上の余地は十分にあると考えられる。
- スマートフォンやケータイの所持率が高く、SNSに関するトラブルも少なくない。
- 生活体験や学習経験が、その場限りとなりやすく応用的な場面での活用に活かせない子が多い。
- 各小学校区に母子生活支援施設が存在し、そこに入所している母子のほとんどが虐待から避難してきている。また施設を退所後校区内に居住している家庭の子どもも相当数在籍している。これらの子どもは自己肯定感が極めて低く、精神的にも情緒不安定である。